

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

10月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族に入院中であつても季節を感じていただけるように、毎年夏の時期には「夏祭り」を開催しており、今年は8月23日に開催しました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、残念ながら今年も患者さんのみの参加での開催となりましたが、夏祭りの屋台の代わりに栄養科の協力のもとフルーツの盛り合わせやゼリーの軽食を用意し、綿あめ、たこ焼き器で作ったホットケーキ、かき氷を



並べて夏らしい屋台を演出しました。

「何十年ぶりに綿あめを食べた」と喜んで完食された方もおられました。うちわ作りでは、好きなイラスト

の絵を選んで貼ってもらい、自分だけのうちわを手作りしたり、ヨーヨー釣りでは、自分の欲しい柄に狙いを定め、取れたらとても喜んでおられました。最後は、談話室の壁を利用した花火大会の試写会を行い、参加した皆さんにはとても喜んでいただきました。



病院という限られた環境の中で、昔を懐かしむ穏やかな時間を過ごすことができただのではないかと思います。

普段は話さないような会話や笑顔など、いつもとは違う患者さんの一面を見ることができました。

ここ数年はコロナ禍で面会制限があり、病室でさびしい時間を過ごされることが多かったのですが、1時間半というわずかな時間でも共に過ごす貴重な体験となりました。ほぼ全ての患者さんに参加していただき、スタッフにとっても心に残る一日となりました。



今後も患者さんにとって「今」という大切な時間を少しでも穏やかに過ごしていただけるよう、心温まる看護を提供していきたいと思ひます。

(文責：緩和ケア病棟看護師 廣田 恵史)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました…………… P 1
 山鹿灯籠まつりに救護班として参加しました… P 2
 2024年4月から看護師のユニフォームが新しくなりました… P 2
 医療最前線 (160) …………… P 3
 第58回公開特別講演会のご案内 …………… P 3
 外来担当医表 (10月) …………… P 4

山鹿灯籠まつりに救護班として参加しました

今年も8月15日、16日に山鹿市の夏を彩る「山鹿灯籠まつり」が盛大に開催され、両日合わせて約13万人が来場されました。15日の納涼花火大会では、菊池川河畔で約4千発の花火が夜空を彩りました。また16日の千人灯籠踊りは、山鹿小学校グラウンドで行われ、金灯籠を頭に載せた女性たちが優雅な舞を披露し、暗闇に光の波がゆらめきました。

山鹿灯籠の起源は、深い霧に行く手を阻まれた第12代景行天皇のご巡行を、山鹿の里人たちが松明を掲げ無事にお迎えしたことに由来します。以来、里人たちは行在所跡（現在の太宮神社）に天皇を祀り、毎年灯火を献上するようになったのが始まりとされています。

今年も山鹿灯籠まつり救護班として当センターの看護師5名が参加し、灯籠まつり本部（湯の端公園内）や花火会場、千人踊り会場内での救護を行いました。

救護班の主な役割は、体調不良やけがをした方の対応、救護要請が生じた際の救急搬送の判断と対応です。今年は熱中症の方が数名おられました。スポーツ飲料を渡しクーリングなどの対応を行い、しばらく休憩をされ体調が回復された方や医師の診察が



必要と判断し救急搬送の対応をした方もおられました。そのほかには大きな事故の発生はなく無事に終了することができました。

ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。これからも歴史ある山鹿灯籠まつりを楽しまに來られる多くの方々に安心して楽しんでいただけるように、自治体病院として協力していきたいと思ひます。

(文責：5階病棟副看護師長 山下 美咲)

2024年4月から看護師のユニフォームが新しくなりました

2020年、新型コロナウイルスが猛威を振るい、当時は治療薬もなく患者数の増加による医療ひっ迫が生じました。我々医療センターの看護師等は、自分自身が感染するかもしれない不安と地域住民のために医療体制を維持する使命感の中、心身の休まらない緊迫した状況で看護にあたっていました。

2023年5月には5類感染症に位置付けられるまでになりましたが、それまでの経過から感じてきた暗澹とした気分がすっきりと晴れることはありませんでした。



このような状況にあった2023年4月14日、山鹿市の早田市長が職員への慰労と激励のため当センターを訪問してくださり、医療現場の最前線で働く我々看護職をねぎらい、気分を新たに看護に取り組めるようにと新しいユニフォームに変更することを勧めてくださいました。

その後、現場の看護師に対するアンケートや投票を経て、身体の動きやすさや重量感、通気性・汗処理などを考慮した現在のユニフォームへの変更を2024年4月によりやく実行できました。

今回のユニフォーム変更に際する早田市長からのお勧めは、山鹿市にお住いの皆様からの声でもあると思ひ、ありがたく受け止めております。

これからもこのユニフォーム変更に至った皆様からのご支援を感じながら、地域住民の命と健康を守るための看護が提供できるよう努めてまいります。この度はありがとうございました。

(文責：看護部長 松本 和美)



医療最前線 (160)



コロナウイルス変異株の抵抗性により左右される医療体制

診療部長 総合診療科
吉岡 明子

コロナウイルス感染症2019(以後、コロナ感染症)の初確認が2020年1月。その後、1)ウイルス株の変異、2)緊急事態宣言発出、3)ウイルス増殖抑制薬の登場、4)5類感染症への移行等々、思い出深い4年間でした。

本年6月~8月の流行時に「ここ2年のコロナと違う印象」を受けた先生方も多かったのではないのでしょうか。私見ですが、デルタ株流行時を思わせる全葉性広範囲肺炎や炎症後肺線維症の合併例、数日間で呼吸不全の合併例、ここ2年にはない割合で認めました。今季の病勢の因子として株変異による「抵抗性」の獲得が関与していると思われます。「医療最前線」のページに既知の疾患となったコロナ感染症について綴ることに戸惑いつつも、株の変異が人間にとって安楽な方向へ進むとは考えられず、再びコロナ関連での綴りといたしました。

株変異は、アルファ株→デルタ株→オミクロン株→オミクロンの亜系統での変異が続いています。オミクロン株へ変異以降は一旦、重症化する患者の割合は減少しましたが、変異株のなかに「感染免疫やワクチン免疫、中和抗体薬への抵抗性」を有するものが増えており一般呼吸器感染症が増加する今年の冬にコロナ感染症が流行した場合は、この抵抗性によっては医療逼迫が再来する可能性もあります。少しでも医療逼迫の低減に役立てばと思ひ患者への注意喚起、治療薬の選択などをご紹介しますと思います。

1) 注意喚起 (同居家族間感染の予防)

潜伏期(1~7日間)、ウイルス多量排出期(発症2日前

~発症5日目)は既知の通りで、同居家族へ「7日間は体調・発熱に注意」と助言する点も変更はありません。変わりつつあるのは患者側の因子で「陽性確定後も一緒に食事、マスクせずに一緒に生活」という方が増えているようです。強制力はないですが「5日間はマスク装着・食事は別で」のご助言が同居家族への感染予防につながると考えられます。

2) 注意喚起(肺炎合併例の増悪抑制)

コロナ以外の病気では症状が改善しなければ再受診するが、コロナ感染症では症状の持続・増悪時にも再受診せずに肺炎・呼吸不全で救急搬入となる場合があるようです。「熱が下がらない、咳や痰がひどくなった(良くならない)場合はもう一度受診を」のご助言が肺炎拡大・呼吸不全抑制につながると考えられます。

3) 治療薬の選択

(ア) 入院・重症化の予防を目的とするもの

- パキロビッドパック®: 外来治療での第1選択薬。発症5日以内に開始。eGFR<30は投与できない、併用禁忌薬がある
- ラゲブリオ®: 発症5日以内に開始。腎不全などでパキロビッド不可の外来での選択薬。妊婦には投与できない。
- ベクルリー®(成分:レムデシビル): 発症7日以内に開始。

(イ) 症状の早期改善を目的とするもの

- ゴコーバ®: 発症から72時間以内に開始。重症化リスクのない患者が対象。妊婦には投与できない。併用禁忌薬がある。

最後に、未知・恐怖のウイルスと言われていた時からコロナ診療のバイブルにしてきた「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」は2020年3月に第1.0版が発行され、22回の改訂を経て2024年4月に最終完成版として第10.1版が発行されています。(無償ダウンロードが可能です)

第58回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1単位)

取得カリキュラムコード番号・コード名

1. 医師のプロフェッショナリズム

下記により第58回公開特別講演会を開催いたします。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時: 令和6年10月18日(金) 19:00~

形式: ハイブリッド方式(オンライン参加 or 会場参加)

会場: オンライン参加 / Zoom ミーティング

会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題: 「腫瘍外科の往古来今」

司会: 山鹿市民医療センター 事業管理者 別府 透 先生

演者: 熊本大学大学院 生命科学研究部

消化器外科学分野 教授 岩槻 政晃 先生

参加費: 無料

【参加要領】

下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

(参加URL): <https://zoom.us/j/95866692373>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID: 958 6669 2373

パスコード: 845147



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 水田、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催: 鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

10月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※赤池 公孝	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹野 洋司	本原 利彦	竹野 洋司 中垣 貴志	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 中山 智子	中山 智子 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 井手 淳之介	工藤 智志 中原 達秀 井手 淳之介	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河隆敏 / 増田稔郎 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 増田 稔郎
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	小澄 将士	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	—	非常勤医師	非常勤医師	—	—
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:30) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00
◎当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来【予約制】

10月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本 英明	毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	
禁煙外来	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>